

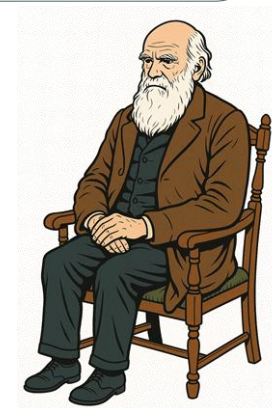
ディスカッション①

高齢化の進化



周囲の物理的条件によりよく適応しているなら、それは天秤をかたむかせてその生物を優勢にするであらう。

出典:ダーウィン著 種の起源(下) 八杉 龍一 訳 岩波文庫 1990



健康経営3.0 2025年

健康経営の進化

2040年の日本の未来に向けて

新しい時代に向けた健康経営 提言

提言1 「人資本の変革」－労働力の考え方の変化

「企業」よし
働き方

人財の流動化と再配置－流動化・気流化⇒無形資産への対応

提言2 「高齢化の進化」－生涯現役社会の構築

「人」よし
健康自立

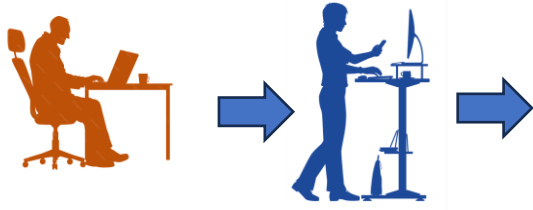
ヘルスエンゲージメント-健康自立⇒企業管理の限界

提言3 「共創社会の実現」－我が社だけは社会リスク

「社会」よし

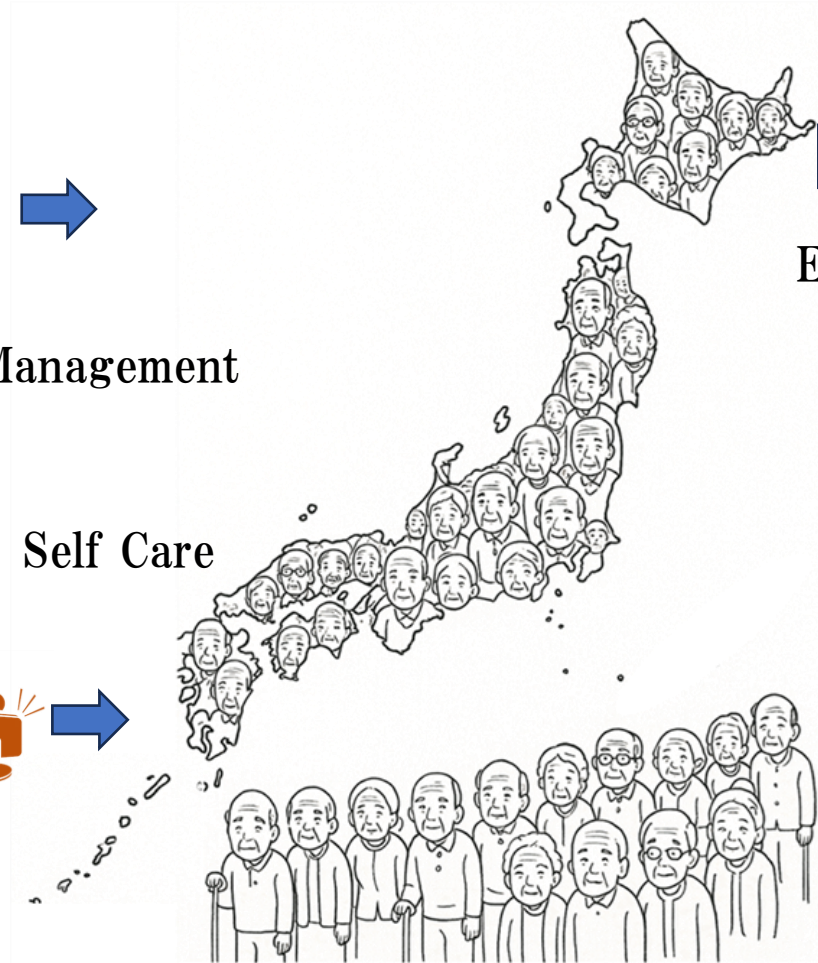
企業単独での取り組みの限界-企業・教育機関・行政などの連携⇒共創事業

高齢化を進化に



Work Style(働き方) Management

Life Style(生活習慣) Self Care



進化

Evolution



Healthy Ageing 加齢変化 不可避



Pathological Ageing 病理的变化 ?

老化

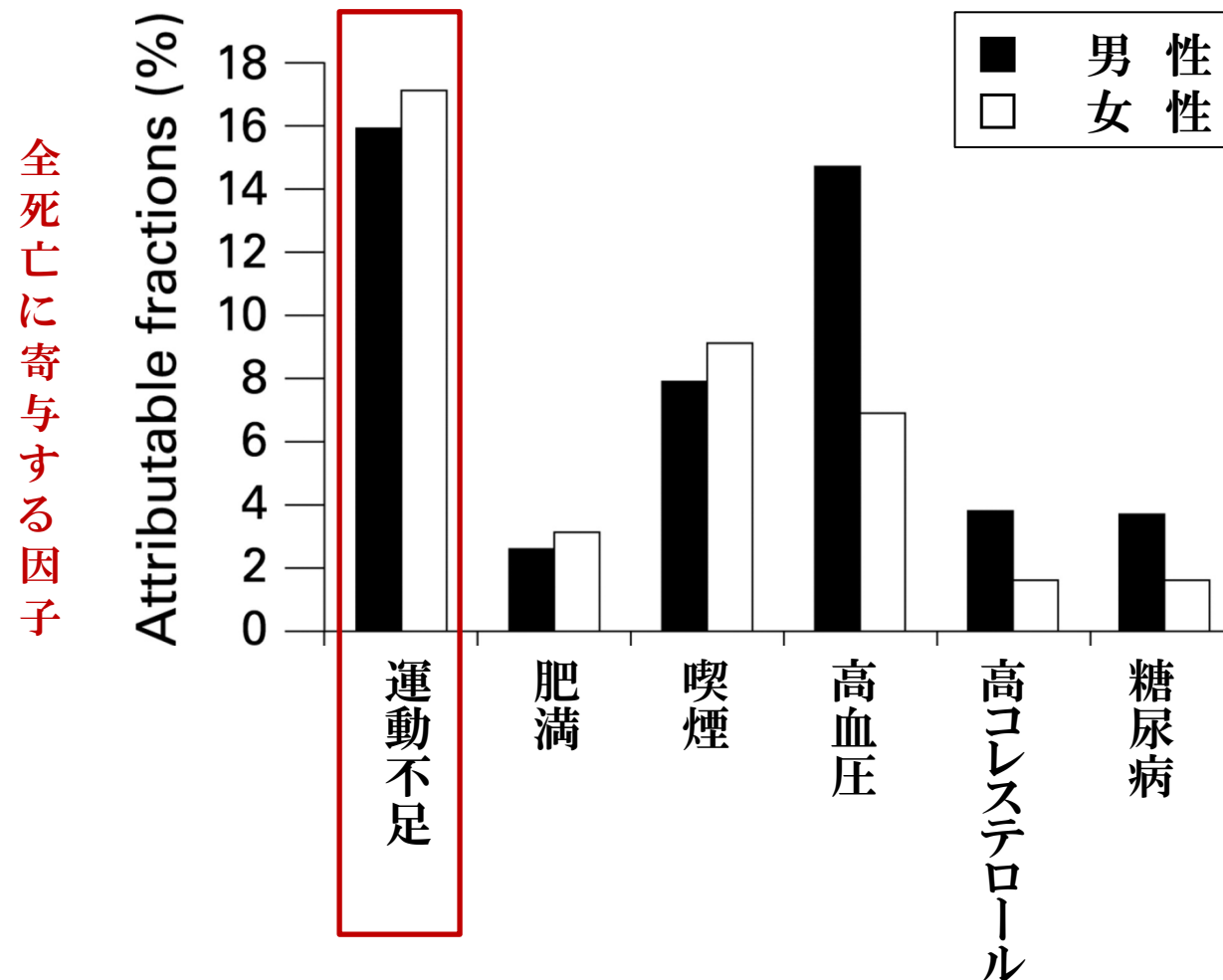
Devolution



文武両道 現代社会では



Attribute fractions(%) for all-cause death in 40842(3333deaths)men and 12943(491deaths) women in the Aerobic Center Longitudinal Study

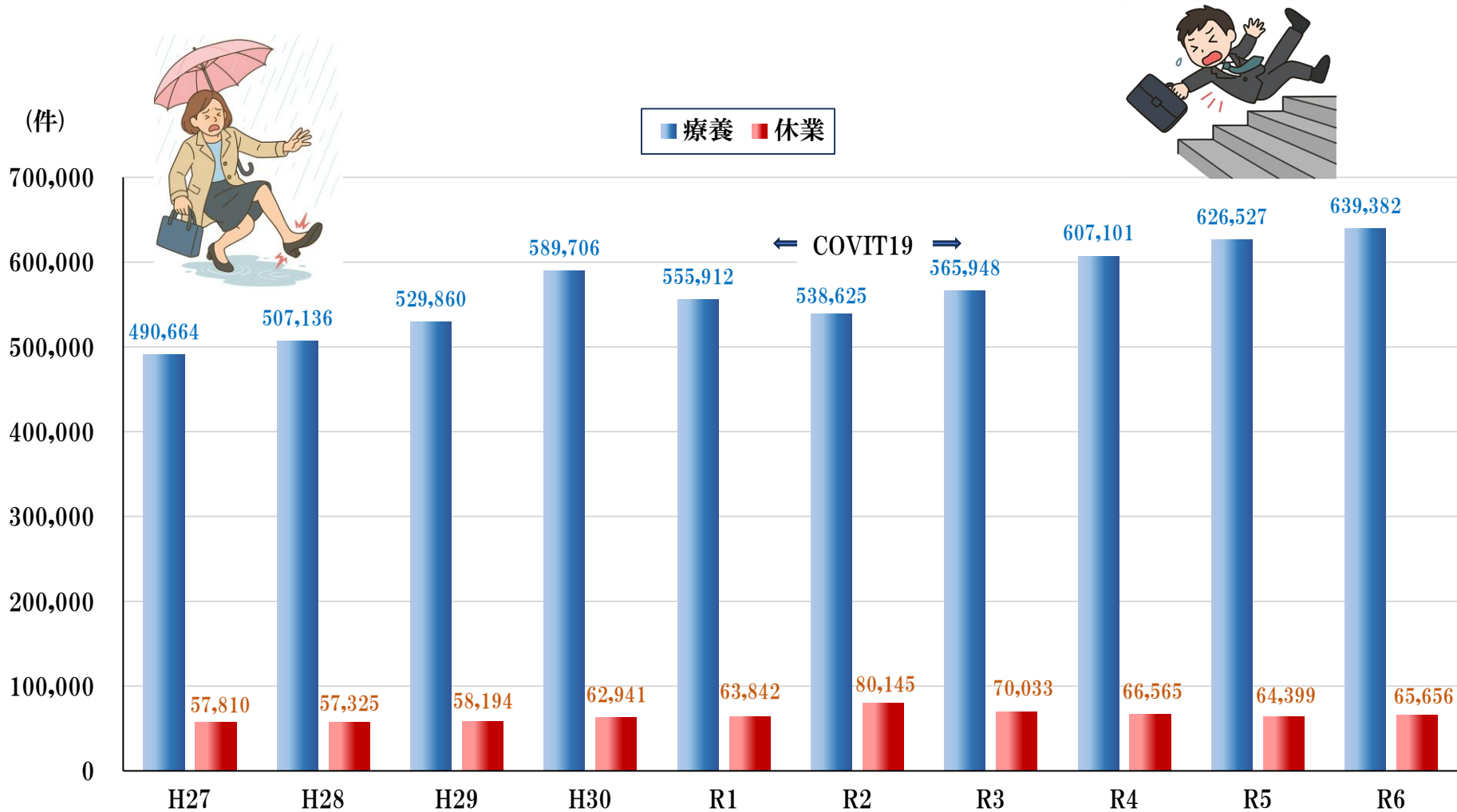


21世紀における
最も重大な
健康問題は？

↓
自分の体を
支えられない
制御できない
↓
動物機能の
消 失

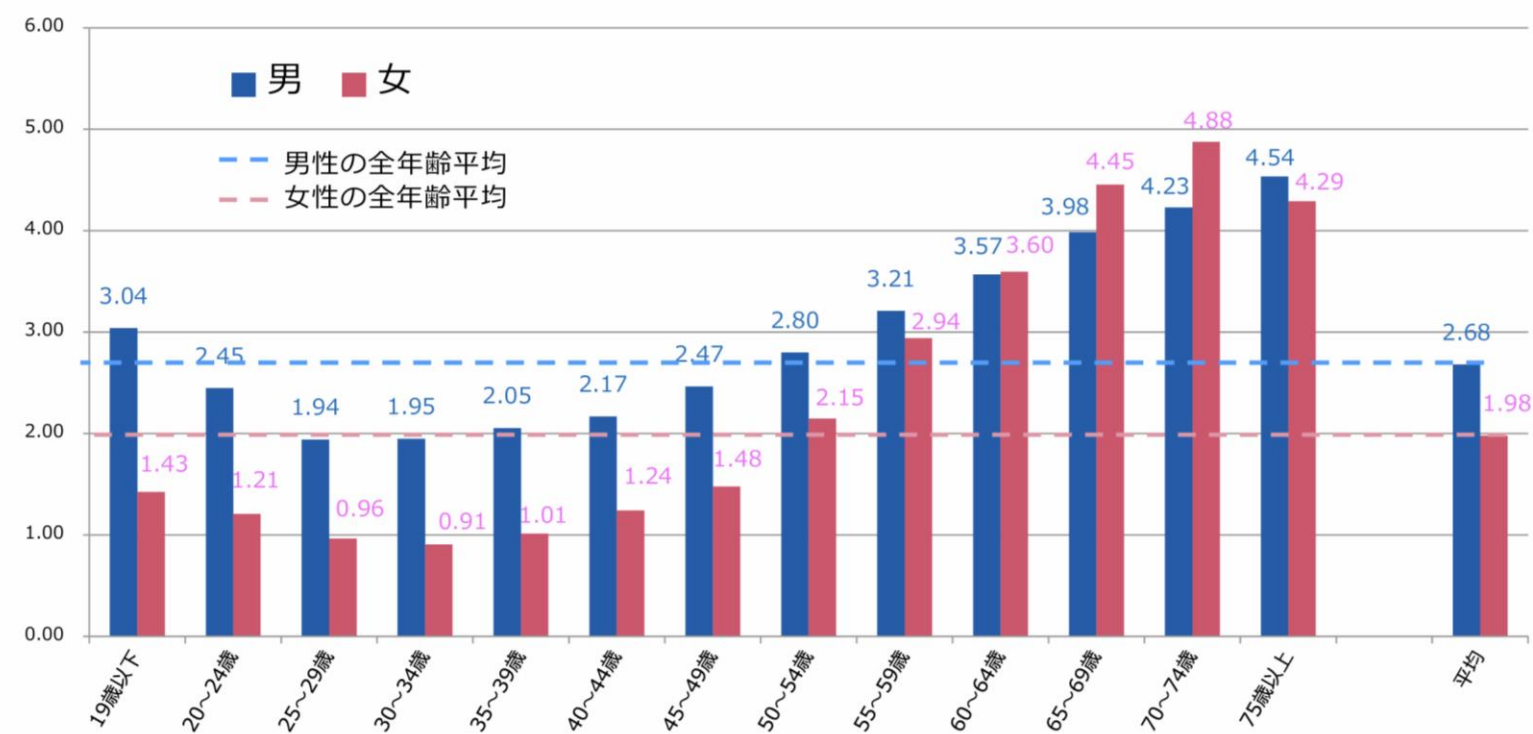
*CRF :Cardiorespiratory fitness determined by a maximal exercise test on a treadmill.

通勤災害保険給付補償支払い状況



性別・年齢層別労働災害発生率（令和6年、休業4日以上之死傷災害の年千人率）

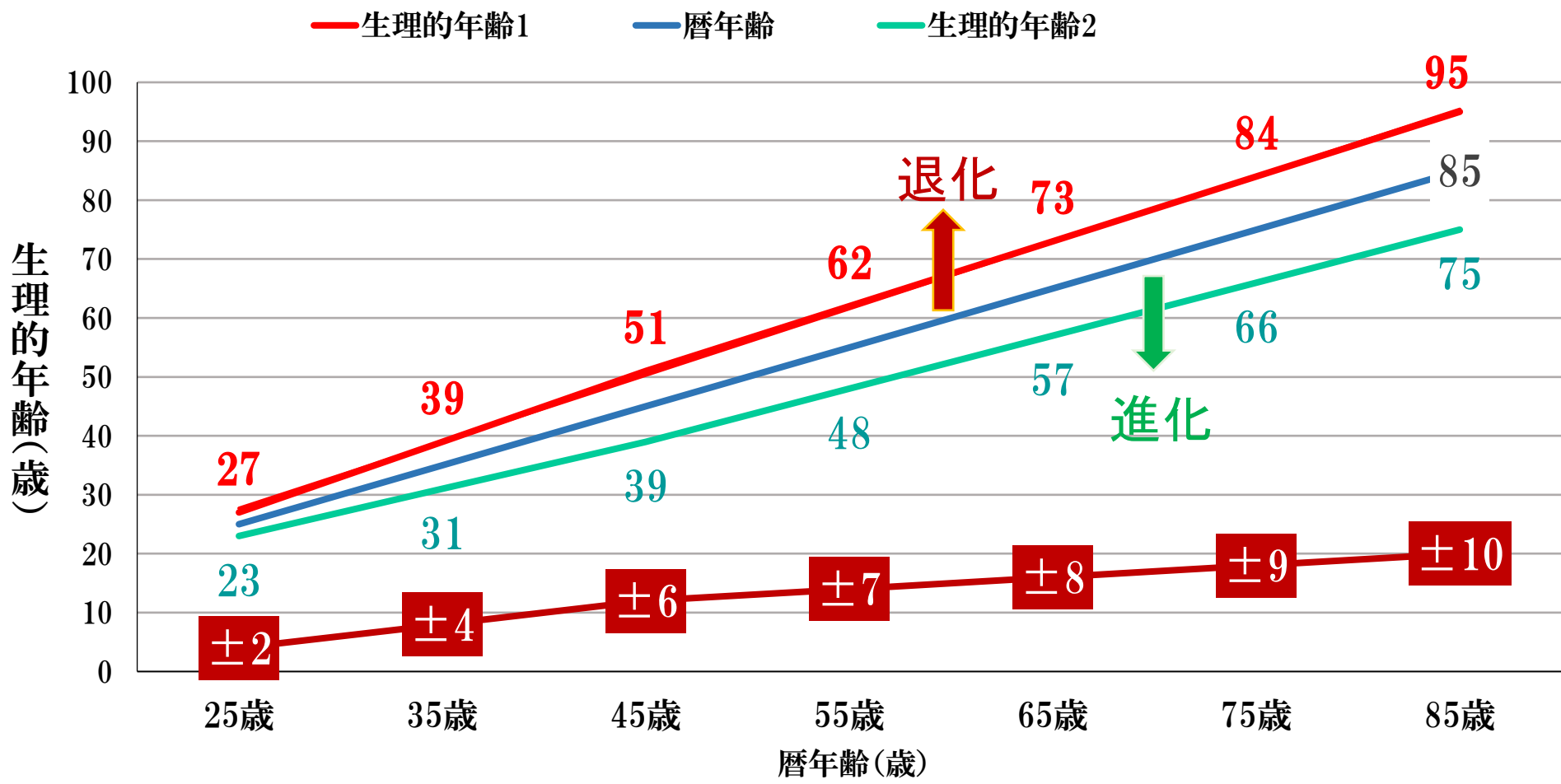
休業4日以上之死傷災害の年千人率（千人当たりの災害発生数、死傷年千人率）を性別・年齢別に見ると、男女ともに、50～54歳で全年齢の平均値を上回り、年齢が高くなることに応じ、死傷年千人率が上昇していく傾向にある。



※千人率＝労働災害による死傷者数/平均労働者数×1,000
データ出所：労働者死傷病報告（令和6年）
※新型コロナウイルス感染症へのり患によるものを除く
労働力調査（年次・2024年・基本集計第1-2表 役員を除く雇用者）

加齢による暦年齢と生理的年齢の個人差の拡大

理解を深めるための例として



令和6年度体力・運動能力調査の結果

35～39歳

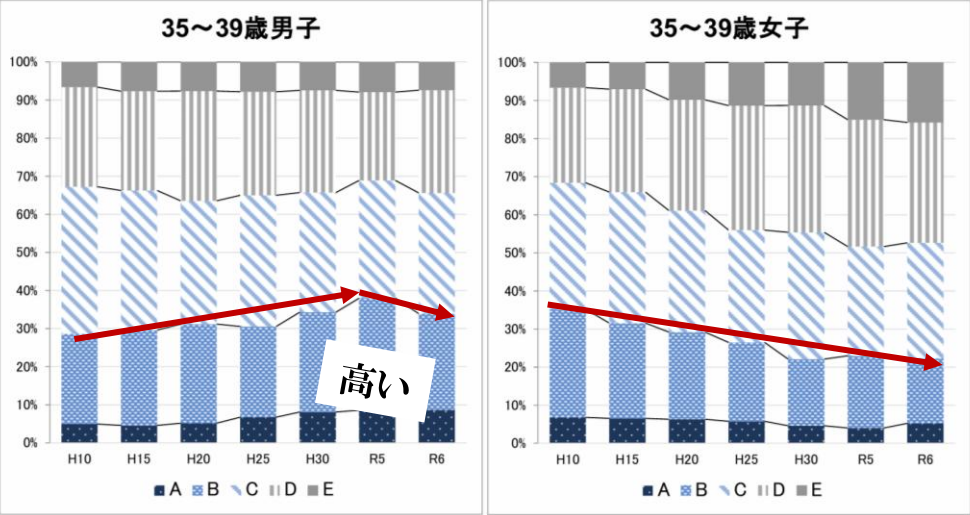


図5. 35～39 歳の総合評価の推移（平成10年度～令和6年度）

75～79歳

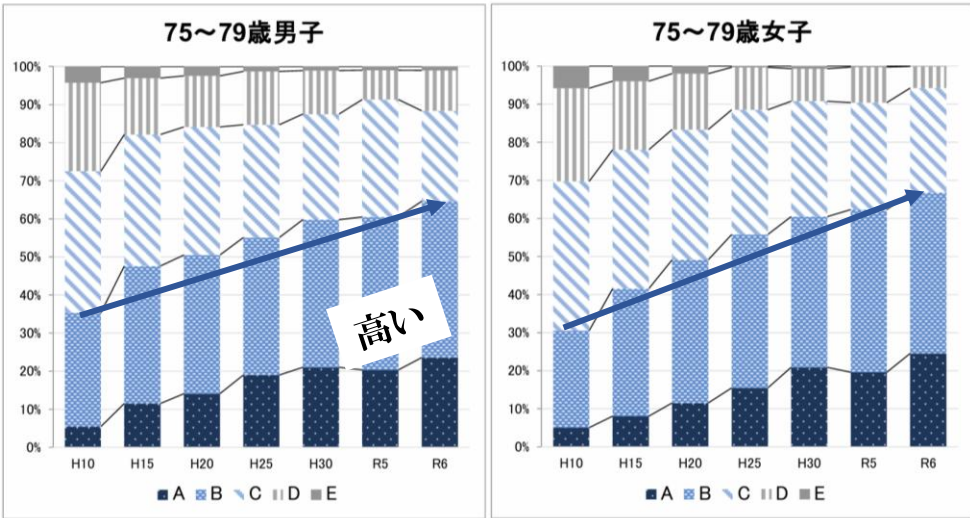


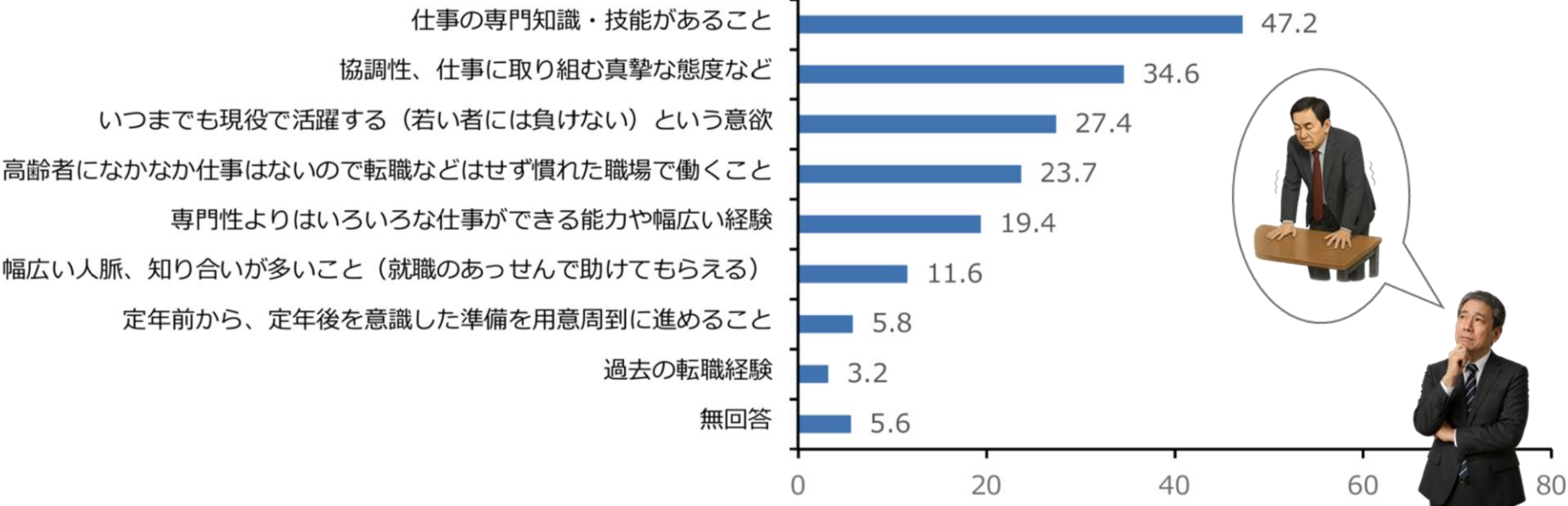
図7. 75～79 歳の総合評価の推移（平成10年～令和6年）

総合評価	A(高い)	B	C	D	E(低い)
------	-------	---	---	---	-------

65歳を過ぎても勤めるために必要なこと(60～69歳)

健康・体力(65歳までの勤務以上に重要である)

(複数回答(%))



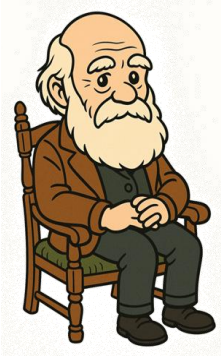
資料出所：独立行政法人労働政策研究・研修機構「60代の雇用・生活調査」(平成27年)
60～69歳で働いている方を対象に、自身の経験に基づき、65歳を過ぎても勤める(採用される)ためにはどのようなことが必要だと思うか尋ねたもの(n=3,244)

【労働者に求められる事】
自己の健康を守るための努力の重要性を理解し、自らの健康づくりに積極的に取り組む

最も変化に敏感なものが生き残る

社会は変化の連続、社会の変化を感じ、迅速に対応

社会の変化に適応する



Charles Robert Darwin
(1809-1882)

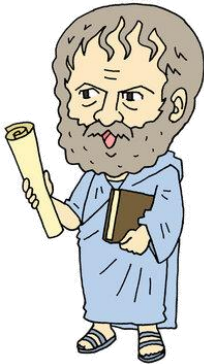
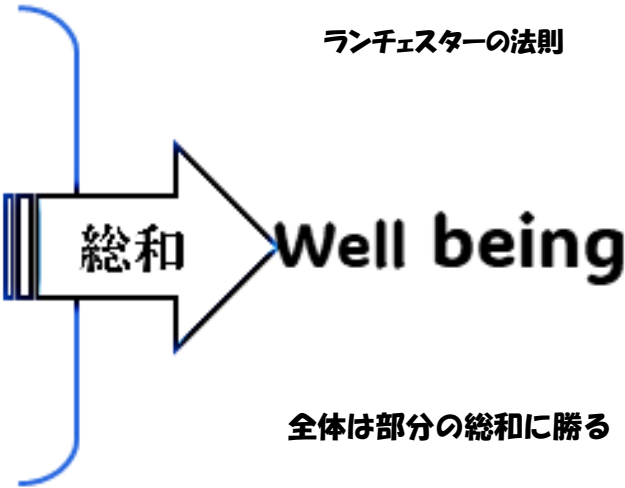
社会の変化



周囲の物理的条件によりよく適応しているなら、それは天秤をかたむかせてその生物を優勢にするであろう。

出典:ダーウィン著 種の起源(下) 八杉 龍一 訳 岩波文庫 1990

社会の発展
↑
企業の成長
↑
従業員の健康



Ἀριστοτέλης
(B.C.E.384-B.C.E.322)

↓
企業